



サラリーマン亜種

生態別分類辞典

第一版

久地大学 生物学部
ヒト科ヒト目サラリーマン種 亜種研究グループ

目次

序文

辞典の読み方

サラリーマン亜種 生態別分類辞典 第一版

付録

跋文

序文

当辞典は日本のサラリーマンの言動や行動の傾向を調査し、亜種別に分類した辞典である。

サラリーマン種については多くの研究がされ、書籍も出版されているが、亜種については調査はされていなかった。

しかし、2009年、世界ほ乳類学会で久地大学を中心とした「ヒト科ヒト目サラリーマン種亜種研究グループ」が発足し研究を進めた。

当辞典はその研究成果のひとつである。

当辞典が人類の進歩の一助になることを切に願う。

辞典の読み方

1	クダリーマン	3	カ
2	【生態の特徴】		
	酩酊した状態でクダを巻いているサラリーマン。		
	酒場で多く発生する。		
		4	136

1. 亜種名
2. 生態の特徴
3. ア～ワ行
4. ページ数

※亜種名が重複する種があるが、生態の特徴が異なる種である。

アオリーマン

【生態の特徴】

**人を煽り、焚きつける
サラリーマン。**

**あやしい仕事、あやしい儲けに
焚きつけるケースもあるので
注意が必要である。**

アガリーマン

【生態の特徴】

昇格、昇給したサラリーマン。
今後、更なる活躍が期待され
るとともに、大きな壁を乗り越
えることが要求される立場にあ
る。

アセリーマン

【生態の特徴】

**仕事中に、汗をかいている
サラリーマン。**

**いい汗の場合と悪い汗の場合
があるので、注意が必要であ
る。**

アメリカマン

【生態の特徴】

**アメリカかぶれしている
サラリーマン。**

**会話中、横文字を使うことが多い。
物事を大げさに語るケース
もある。**

アメリカマン

【生態の特徴】

雨を降らすことが多い

サラリーマン。

ゴルフ接待や野外行事などで

**雨を降らすことが多いため、注
意が必要である。**

アラリーマン

【生態の特徴】

粗利を好むサラリーマン。

儲けることを常に思考している。

提示してくる見積の金額が高い傾向にあるので注意が必要である。

イジリーマン

【生態の特徴】

**他の個体種をいじる
サラリーマン。**

**「イジリ度数」が高いと「いじめ」
になることもある。**

イタリーマン

【生態の特徴】

**イタリアかぶれしている
サラリーマン。**

**雑誌「LEON」を携帯している。
高級品を好むが全体的なコー
ディネイトはやや劣っている。**

イトリーマン

【生態の特徴】

IT(情報技術の意)を「イット」と誤読するサラリーマン。

2000年代初頭に局所的に発生した。現在では絶滅した可能性が高いと指摘されている。

イビリーマン

【生態の特徴】

**弱い立場の者をいじめる
サラリーマン。**

極めて陰湿なケースも想定されるため、注意が必要である。

ウリリーマン

【生態の特徴】

営業回りのサラリーマン。

セールスマンとも呼ばれる。

押しが強く、打たれ強い種。

しかし近年では、セールス活動が変化しているとも言われる。

エロリーマン

【生態の特徴】

エロいサラリーマン。

**セクハラ事件を起こす可能性
があるので注意が必要である。**

オイリーマン

【生態の特徴】

油ぎっているサラリーマン。

ギラギラしている。

ゆえに爽やかではない。

オイリーマン

【生態の特徴】

老いているサラリーマン。
定年間近な50代後半から
60代前半に多い。

この個体種から学ぶことは多
いので、大切にすべきである。

オコリーマン

【生態の特徴】

いつもピリピリしている

サラリーマン。

怒りの沸点が低い。

**大声での叱責、灰皿など備品の
の飛来に注意する必要がある。**

オゴリーマン

【生態の特徴】

**飲み会などで奢るのが好きな
サラリーマン。**

**交際費や会議費と称して、
経理処理する傾向があるので
注意が必要である。**

オタリーマン

【生態の特徴】

オタクなサラリーマン。

オンは仕事をそつなくこなし、

オフはアキバ系趣味の専門家

として活動する。

※オタリーマンに関連する書籍が出版されている。

オトリーマン

【生態の特徴】

他の個体種と比較して能力が劣っているサラリーマン。

強化が必要な能力としては
技術力、コミュニケーション能力
などが挙げられる。

オドリーマン

【生態の特徴】

見えざる大物の手の平で
踊らされているサラリーマン。
目的を知らされずに仕事をして
いるケースが多いため、助言を
与える必要がある。

オリリーマン

【生態の特徴】

出世コースを自ら降りる、もしくは降りたサラリーマン。

自生活を優先したか、出世を諦めたか、理由は様々である。

カイリーマン

【生態の特徴】

目標と行動がかけ離れている
サラリーマン。

その行動には乖離が生じ、周
囲を戸惑わせるケースがあるた
め、注意が必要である。

カオリーマン

【生態の特徴】

フレグランス効果により

香っているサラリーマン。

個体の体臭と化学反応が起き、

プラスもしくはマイナスの効果

が生じる。

ガキリーマン

【生態の特徴】

**その言動や行動が子供めいた
サラリーマン。**

アダルトチルドレンとは似て非なる種である。

カゲリーマン

【生態の特徴】

**その個体に陰りの見えてきた
サラリーマン。**

**沈滞、不安定、不吉な雰囲気
が垣間見える。**

カタリーマン

【生態の特徴】

過去の栄光や経験を語ることを好むサラリーマン。

**古き良き時代に固執し、
同じ話の繰り返しになるケースが多い。**

カロリーマン

【生態の特徴】

**摂取するカロリーを気にする
サラリーマン。**

**健康のため、食べ物に気を遣っ
ているが、食欲に負けてしまう
種も多く生息している。**

キドリーマン

【生態の特徴】

気取っているサラリーマン。
お洒落な感じでさっそうとして
いる。仕事よりお洒落優先の
場合は注意が必要である。

キバリーマン

【生態の特徴】

気張っているサラリーマン。
張り切って仕事に精を出している。
気張り過ぎていると体調を
崩すケースもあるので注意が必要
である。

ギロリーマン

【生態の特徴】

眼力の強いサラリーマン。

眼球に表出する「仕事への真剣
度数」が他の個体種の約3倍
高いことが計測された。

ククリーマン

【生態の特徴】

カテゴライズ、分類、整理を
好むサラリーマン。

整理することで仕事の効率化を
進めるが、分類が分類を呼び、
混乱を招くおそれもある。

クサリーマン

【生態の特徴】

根性が腐っているサラリーマン。

性格が悪い。

または気分が滅入っており、元気がない場合もある。

クダリーマン

【生態の特徴】

酩酊した状態でクダを巻いているサラリーマン。

酒場で多く発生する。

グチリーマン

【生態の特徴】

愚痴をこぼすサラリーマン。

言っても仕方がないことをつぶやく習性がある。

理想と現実の差を嘆く種が多い。

ケイリーマン

【生態の特徴】

**経理業務に就くサラリーマン。
お金や数字に目を光らせてい
る。**

ケチリーマン

【生態の特徴】

ケチなサラリーマン。

飲食費はなるべく経費で落とす傾向にある。

ケムリーマン

【生態の特徴】

喫煙するサラリーマン。

喫煙からの脱皮活動(禁煙)の際には、神経が高ぶっている種も存在する。

コジリーマン

【生態の特徴】

仕事をこじらせるサラリーマン。
本人の性格が原因となり、人間
関係もこじらせるケースもあり
注意が必要である。

コモリーマン

【生態の特徴】

休日に家に籠っている

サラリーマン。

インドアを好む。

ゴロリーマン

【生態の特徴】

**休日に家でゴロゴロ休息をとる
サラリーマン。**

休息中は競馬や、ゴルフのテレビ中継を眺めているケースが多い。

サカリーマン

【生態の特徴】

発情しているサラリーマン。
異性もしくは同性を見る目が
鋭く、思わぬ行動を取る習性
がある。

サガリーマン

【生態の特徴】

降格、降給したサラリーマン。

今後、左遷が想定される

とともに、ある意味

大きな壁を乗り越える

ことが要求される立場である。

サグリーマン

【生態の特徴】

ある事象に探りを入れる

サラリーマン。

調査行動、水面下での行動が多い。心理学に長けている個体もいる。

サトリーマン

【生態の特徴】

悟りを開いたサラリーマン。
厳しい修行(仕事)の結果、真
理を会得し、企業から巣立つ
種もいる。アントレ種に進化し
た個体も多く存在する。

サボリーマン

【生態の特徴】

**営業時間内に繁華街でサボる
サラリーマン。**

**その時間を「情報収集」と位置
付け、活動するケースが多い。**

サマリーマン

【生態の特徴】

要約を好むサラリーマン。

要約しすぎ、抽象的となり、他の個体種に理解されないケースもある。

ザラリーマン

【生態の特徴】

良質でなく、どこにでもいる

サラリーマン。

その個体は代替されるケースが多い。

シキリーマン

【生態の特徴】

**何事につけても仕切りたがる
サラリーマン。**

「俺が全責任を取る！」

**と鳴くことがあるが責任を取っ
た個体数は少ない傾向にある。**

ジコリーマン

【生態の特徴】

仕事上、事故を起こす

サラリーマン。

事故の原因は技術が未熟であることや、人間関係のもつれなどが多い。

スイリーマン

【生態の特徴】

現象や原因を推理する

サラリーマン。

**事実調査や解決活動には工数
がかかるという理由で、問題を
放置するケースが多い。**

セコリーマン

【生態の特徴】

せこい行動をするサラリーマン。
細かくて、ずるい習性がある。
自身は「慎重派」と自称することもある。

ダイリーマン

【生態の特徴】

**代理活動を主とする
サラリーマン。**

代理で受電。

代理で会議に出席。

代理で謝罪する。

タカリーマン

【生態の特徴】

**お金や食事に群がる
サラリーマンの集団。**

タフリーマン

【生態の特徴】

24時間戦っている

サラリーマン。

**企業戦士とも言う。体が丈夫
である。情熱にバイアスがかか
り冷静さに欠ける場合がある。**

タブリーマン

【生態の特徴】

タブーを犯すサラリーマン。

常識やマナー、規則、人間関係などの決まりごとを破り、周囲に不快感を与える習性がある。

タマリーマン

【生態の特徴】

溜まっているサラリーマン。

溜まる対象物の例としてゴミ、
疲れ、ストレス、仕事、クレジット
トの支払い、性欲などが拳げら
れる。

ダマリーマン

【生態の特徴】

沈黙するサラリーマン。

都合の悪い発言を求められると
初期症状として歯切れが悪くなり、
中期で拳動の変化が表出し
末期で沈黙する。

ダブリーマン

【生態の特徴】

**重複した無駄な作業をする
サラリーマン。**

**「重複なく・漏れなく」が仕事の
計画を立てる際の基本である。
計画立案の強化が必要である。**

チクリーマン

【生態の特徴】

**上司に告げ口、密告する
サラリーマン。**

**スピークアップ制度を導入して
いる企業にとっては、要となる
ケースもある。**

チャラリーマン

【生態の特徴】

おちゃらけたサラリーマン。

言動が軽薄であり、うわついでいる。

デイリーマン

【生態の特徴】

日中、元気なサラリーマン。

トブリーマン

【生態の特徴】

地方へ飛ばされる

サラリーマン。

左遷か、栄転か、判断に迷う

場合がある。

ドナリーマン

【生態の特徴】

大声での叱責を好む

サラリーマン。

パワーハラスメントの対象になるケースもあるので注意が必要である。

トロリーマン

【生態の特徴】

**動作や頭の働きがにぶい
サラリーマン。**

**仕事に遅延が生じやすく、納期
遅れの原因になる。**

ドロリーマン

【生態の特徴】

泥臭い仕事を好む

サラリーマン。

スマートではない仕事が多く、

効率的ではない。しかし見習う

べき点も多くある。

ナキリーマン

【生態の特徴】

**仕事に失敗して、泣いている
サラリーマン。**

**仕事に成功して、泣いている
サラリーマン。**

2種類が存在する。

ナグリーマン

【生態の特徴】

**従業員あるいは備品を殴る
サラリーマン。**

**ボコリーマンよりバイオレンス度
が低いとされるが、注意が必要
である。**

ナマリーマン

【生態の特徴】

標準語とは異なるイントネーションで発声するサラリーマン。

言語学上で言う、方言を用いて会話をする。ふるさとでは方言が標準語である。

ニギリーマン

【生態の特徴】

他の個体種の秘密や弱みを握っているサラリーマン。
弱みに付け込み、言いなりにさせようと迫る個体も存在するので注意が必要である。

ネゴリーマン

【生態の特徴】

交渉、協定、取引などの話し合いを得意とするサラリーマン。
事前の根回しをすることも多い
習性がある。

ネムリーマン

【生態の特徴】

会議やデスクワーク中に
居眠りをするサラリーマン。
健康障害のケースも想定され
るため、注意が必要である。

ノボリーマン

【生態の特徴】

大きな仕事を大きな山に例え
地道に登るサラリーマン。

努力を怠らず、失敗をおそれず
前向きな習性である。

ハウリーマン

【生態の特徴】

ハウリングを起こしたような声を持つサラリーマン。

電子的、金属的な音声により不快感を伴うケースが多い。

パクリーマン

【生態の特徴】

**他人の手柄やアイデアを
横取りするサラリーマン。**

ハシヨリーマン

【生態の特徴】

仕事を省略するサラリーマン。
自身では効率化と称している
が、品質上の欠陥が生じるケー
スもあるため、注意が必要であ
る。

バトリーマン

【生態の特徴】

好戦的なサラリーマン。

会議などで「相手を打ち負かそう」とする発言が表出しやすい。

バブリーマン

【生態の特徴】

1980年代後半から1990年代初期に発生したサラリーマン。
2012年現在、個体が激減しており、絶滅の可能性が高い。
天然記念物に指定された。

ハレリーマン

【生態の特徴】

**その言動や行動が原因でハレ
ーションを起こすサラリーマン。
周囲への悪い影響がある。**

ハレリーマン

【生態の特徴】

**晴天に恵まれることが多い
サラリーマン。**

**ゴルフ接待や野外行事などで
晴天となることが多い。**

イベント時に重宝されている。

ビビリーマン

【生態の特徴】

臆病なサラリーマン。

**営業、プレゼンテーションなどを
苦手とする。**

ファミリーマン
【生態の特徴】
家族をこよなく愛する
サラリーマン。

ホコリーマン

【生態の特徴】

誇り高きサラリーマン。

自分の仕事に自信を持って臨んでいる。

企業側は「期待の星」と位置付けるケースが多い。

ボコリーマン

【生態の特徴】

従業員あるいは備品に暴行するサラリーマン。

ナグリーマンよりバイオレンス度が高い、危険種である。

ホロリーマン

【生態の特徴】

ホロリと涙させるサラリーマン。
人情味溢れる語り口で周囲を
感動の渦に巻き込み、ホロリと
させる。

マイリーマン

【生態の特徴】

負けたサラリーマン。

ダメージが小さい時は

「いやあ、まいった、まいった」と

笑いながら鳴くが、ダメージが

大きい時は、沈黙している。

マツリーマン

【生態の特徴】

祭事を好むサラリーマン。
宴会、社員旅行、運動会、ゴルフコンペなどのレクリエーションを好む傾向にある。

マモリーマン

【生態の特徴】

守りを得意とするサラリーマン。
保守的な傾向が強い場合、環境変化に追いつくことができず苦しむことがある。

メタリーマン

【生態の特徴】

メタボリックサラリーマン

の略称。

デブリーマン。フトリーマンとも

呼ばれる。

モテリーマン

【生態の特徴】

異性にもてるサラリーマン。

仕事も遊びもできる。

**リクルート社「R25」で活動して
いる。**

ヤメリーマン

【生態の特徴】

企業を退職するサラリーマン。
定年、自主、解雇と退職には
さまざまな理由がある。

ユズリーマン

【生態の特徴】

手柄を譲るサラリーマン。

部下や上司に花を持たせる習性がある。

気持ちに余裕がある。

ヨイリーマン

【生態の特徴】

酔っ払っているサラリーマン。

新橋にその発生率が高い。

テレビ番組の街頭インタビュー

で、その生態が観察されるケー

スも多い。

ヨルリーマン

【生態の特徴】

夜、元気なサラリーマン。

その反面、日中は覇気が無い。

ラブリーマン

【生態の特徴】

かわいらしいサラリーマン。
転じてかわいらしい備品を好む
サラリーマン。後者はデスク回りが
乙女チックに構成されている
ことが多い。

ロンリーマン

【生態の特徴】

論理的思考を有する

サラリーマン。

頭脳が優れていることを自負し

周囲を見下すケースもある。

ロンリーマン

【生態の特徴】

独身のサラリーマン。

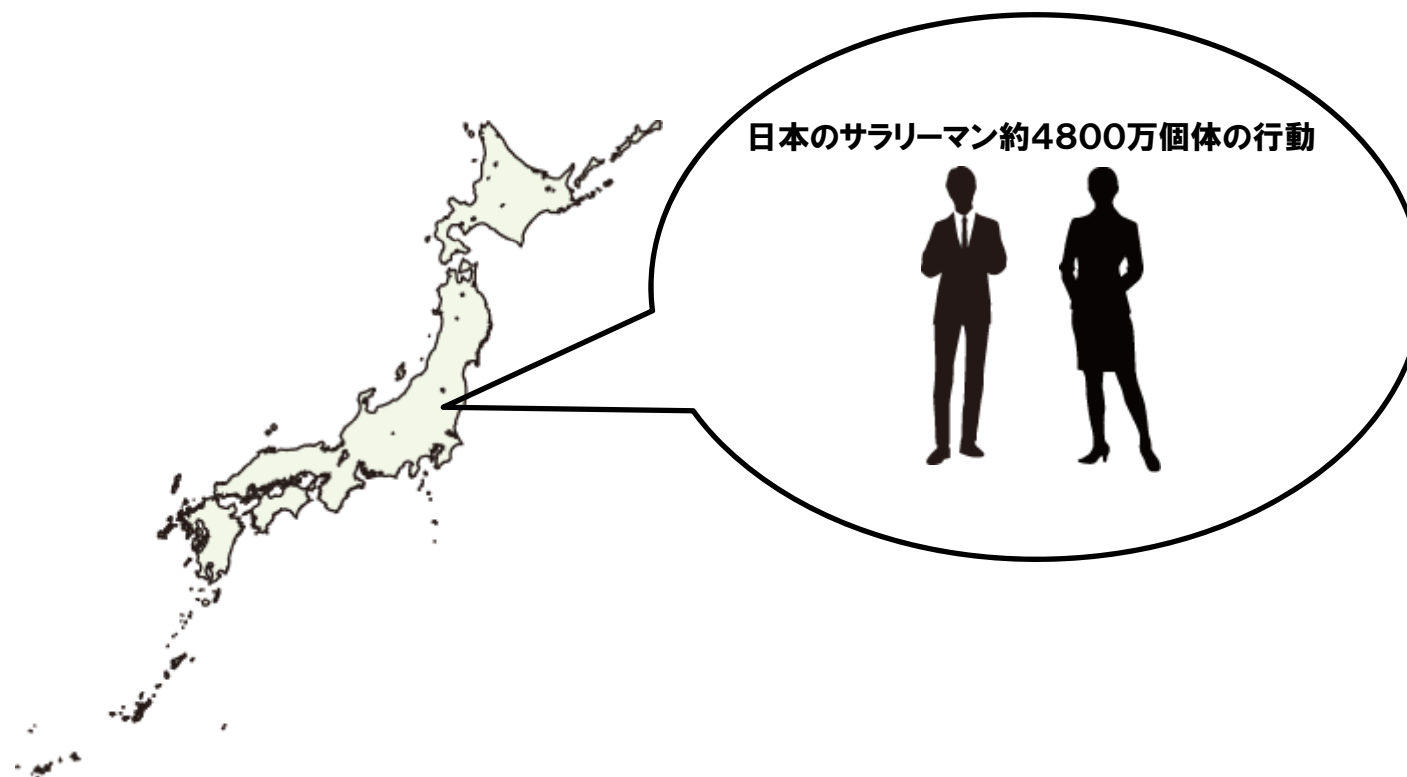
**転じて企業内で孤独な
サラリーマン。**

**後者の場合、周囲のサポートが
必要な場合がある。**

付録

サラリーマン亜種の分類手法

久地大学生物学部ヒト科ヒト目サラリーマン種亜種研究グループでは日本のサラリーマン約4800万個体の行動に着目し、サラリーマン亜種(95種類)を定義づけた。サラリーマンの研究には、ほ乳類学を基軸とし、自然人類学、文化人類学、考古学など、様々な学問を応用している。



サラリーマン完全種の存在

久地大学生物学部ヒト科ヒト目サラリーマン種亜種研究グループは、調査、研究を進める中で、「『サラリーマン完全種』が存在するのではないか？」と仮説を唱えた。「サラリーマン完全種」とはサラリーマンの究極、最終形態と位置づけられる種である。

2011年4月、TECOT(旧:初芝五洋ホールディングス)の協力支援を得られることが決定し、現在は第1号「サラリーマン完全種」として、島耕作氏を対象に検証を進めている。

並行してヤマト中央建設の協力支援を取り付けるため、協議を進めている。

※サラリーマン完全種とは

サラリーマンの究極、最終形態を言う。

2010年4月にUMH(Unidentified Mysterious Human)に指定された。

跋文

「サラリーマンとは何か」を明らかにすることは、「働くこととは何か」を明らかにするひとつの手法である。サラリーマンの他にも働いているヒトはいる。今後は、職人種、役人種、公務員種にも研究の視野を広げていきたいと考えている。

書籍名 サラリーマン亜種 生態別分類辞典 第一版

発行日 2012年3月1日 第1刷発行

企画 KKS ENTERTAINMENT

著者 久地大学 生物学部 ヒト科ヒト目サラリーマン種 亜種研究グループ

発行所 久地アバウトパブリッシング



(注)新たな新種が発見された場合、既存の個体種の調査内容に変化が有った場合など、当辞典に適宜改訂を加える。